



夕刊

産業経済新聞(サンケイ)  
THE SANKEI SHIMBUN

発行所 ©産業経済新聞大阪本社 2021  
〒556-8660 大阪市浪速区湊町2-1-57  
電話 (06) 6633-1221(大代表)

販売・配達に関するお問い合わせ

06-6633-9357

(平日9時~19時、土日祝日9時~17時)

https://o-sankei-hanbai.com/c/平日のみ

購読のお申し込み

0120-34-3733

(平日9時~19時、土日祝日9時~17時)

https://reader.sankei.co.jp/reader/

# 「救食」学校レトルトカレー

## 学生食堂や地域を支援

高校や大学などの教育現場で、レトルトカレーが続々と開発されていることを存じだろうか。地元の食材を使った「ご当地カレー」がブームになるなか、教育現場でもレトルト食品づくりが広がっているという。学校発といえど、地域のスーパーで販売されたり、地元自治体の「ふるさと納税」の返礼品に選ばれたりする本格派も。だがなぜ、学校がカレーをつくるのか。

(木ノ下めぐみ)



八尾高校のシンボル「狐山」の前で「八尾きつね山カレー」をアピールする学生食堂店長の浜本行則さん(前列左から3人目)と食物研究部の生徒たち(大阪府八尾市の府立八尾高校(南雲都撮影))

大阪府八尾市の府立八尾

高校がレトルトカレーづくりに乗り出したきっかけは、完全民営の学生食堂が経営難に陥ったことだ。食

堂存続に向けて生徒や卒業生が知恵を絞り、「おいしい」と評判のカレーをレトルト商品化して運営費にあてようと考えた。

トマト入りのポークカレーと、市特産の小松菜を使ったチキンカレーを開発。学校のシンボルの「狐山」

にちなみ、商品名は「八尾きつね山カレー」とした。開発に協力した同校食物研

究部の部長、中田純さん

(17)は「野菜嫌いな人も食べられるマイルドな仕上げになった」と話す。

昨夏、支援金に応じた返礼品としてカレーを受け取る購入型クラウドファンディングを実施したところ、約1カ月で目標額を大きく上回る185万円が集まった。昨秋からは地元自治体のふるさと納税の返礼品にもなっている。

コロナ禍で食堂経営はさらに厳しい状況となっているが、店長の浜本行則さん(47)は「休業も、『じっく

りカレーについて考えられる時間だ」と、前向きに思えた」と話した。



レトルトカレー作りに取り組む学校は各地にある。

鳥取県立倉吉農業高の「イノシシカレー」は害獣として駆除されたイノシシの肉を使ったカレーを考案。新

潟県立海洋高の「ごっつあんカレー」も産卵後の食用に不向きなサケの有効活用に一役買っている。

2高の取り組みからは、地域の課題解決に学校として関わろうという意欲も垣間見える。「ごっつあんカレー」の売り上げの一部は、開発に関わった相撲部の食費にも充てられている

学校が開発したレトルトカレー

- ①新潟県立海洋高: ごっつあんカレー
- ②花咲徳栄高: アスマエ アスリートメタカレー
- ③愛知江南短大: 和風仕立ての江南野菜カレー
- ④龍谷大: ほうれん草キーマカレー
- ⑤鳥取県立倉吉農業高: イノシシカレー
- ⑥福岡県立折尾高: おりこカレー
- ⑦鹿児島県立加世田常潤高: 常潤カレー
- ⑧琉球大: 琉球大学カレー

※カレー総合研究所への取材を基に作成

「いろんな食材を入れてもいいし、低コストで作れて保存性も高い。何より、嫌いな人が少ない」とレトルトカレーのメリットを語るのは、カレー総合研究所の所長、井上岳久さんだ。学校発商品の広がりには「20年ほど前に各地の名産品を使った『ご当地カレー』が登場したことがきっかけ」という。正確な統計はないが、現在販売ルートに乗っているものは「常時100種以上」(井上さん)とも。ご当地カレーは地域に根付く高校と相性が良いといい、「商品を作ることで生徒の学びになるとともに、地域と学校のPRにもなる」とする。

松浦さんは「一時は販売中止もよぎったが、京大土産として定着しており、できる限り販売を続けたい」と話した。

そつだ。

学部の「総長カレー」の成功だという。第24代の尾池和夫総長を中心に考案され、大学内のカフェレストランで名物メニューとなっていたカレーが、平成19年に商品化されたもの。スパイシーな味わいが人気で、京大ブランドもあいまって出荷数は累計45万個にも上る。

京大生協の松浦順三常務理事によると、「式典でしか会えない総長を学生に身近に感じてほしい」という思いから商品化。大学を訪れた保護者らが土産に購入していたが、昨年度はコロナ禍で大学を訪れる人が激減。発売以来初めて、年間出荷数が2万個を下回ったという。

学校発カレーの「火付け役」となったのは、京都大